

ハード事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	水と緑の森づくり事業			担当課	農林水産課		
	予算事業名	水と緑の森づくり事業			係名	業務林政係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1036		
	事業期間	開始年度	平成19年度	終了年度	平成28年度	予算科目	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標5 豊かな自然と共生したまち				款	農林水産業費
		政策名	12 自然環境の保全・継承				項	林業費
施策名		35 水と緑の保全と活用				目	造林事業費	
基本事業名		35-2 森林の整備・保全				市民協働の状況	協働可能だが予定なし	

2 事業概要	事業概要	人家、耕地周辺などの里山林（モウソウ竹林含む）、小規模な風雪被害林やカシノナガキクイムシの被害木の伐採跡地などで、整備及び管理又は利用について地域の合意形成が図られている森林を対象に、地域や生活に密着した里山の再生整備を行う。
	対象	市内民有林
	手段（活動指標）	事業実施地区の整備や管理・利用についての計画の策定や、そのために必要な森林調査や森林所有界の確認を行い、県・市・森林所有者の3者による協定の締結後、広葉樹や竹林などの伐採、玉切り、集積を行う。
	意図（成果指標）	放棄され暗くなった里山林を地域の合意のもと策定された計画に基づいて伐採など整備を行い、明るい里山を再生する。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 里山整備箇所数（累計）	箇所	22	22	23	23	100.0%	26
	②							
	③							
成果指標	① 里山整備面積（累計）	ha	83	83	107	107	100.0%	144
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	784,000	685,000	99,000	99,000	-85.5%	291,000
	② 委託料	円	19,880,000	19,594,220	23,179,000	16,559,970	-15.5%	28,714,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	416,000	365,000	51,000	51,000	-86.0%	159,000
支出合計（A）		円	21,080,000	20,644,220	23,329,000	16,709,970	-19.1%	29,164,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	21,080,000	20,644,220	23,329,000	16,709,970	-19.1%	29,164,000
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤ 一般財源	円						
収入合計		円	21,080,000	20,644,220	23,329,000	16,709,970	-19.1%	29,164,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	500	500	500	600	20.0%	600
	③ 人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,520,000	20.0%	2,520,000
総費用（A+B）		円	23,180,000	22,744,220	25,429,000	19,229,970	-15.5%	31,684,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○富山県、地権者、魚津市の3者において、里山再生整備事業の実施に関する協定書を、9～11月にかけて締結した。</p> <p>○協定を締結した森林について里山の再生整備を、9～3月にかけて行った。</p>	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性	有効性		A	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		A	コスト効率	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
1次評価（課長総括）			A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
後の評価（課題及び今後の方針）		森林が有するCO2削減効果をはじめとする多面的機能を保持し活かすとともに、里山荒廃による鳥獣被害を軽減するためにも重要な施策のひとつである。目的税が原資であり効果を考慮しながら実施していく必要がある。			評価結果		